

○議長（初村 久藏君） これで、小島徳重君の質問は終わりました。

-----

○議長（初村 久藏君） 昼食休憩といたします。再開は1時からとします。

午前11時59分休憩

-----

午後1時00分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） こんにちは。小宮でございます。

今回の市議会議員選挙におきまして、かろうじて、かろうじて当選をさせていただきました小宮でございます。市民の皆様、本当にありがとうございました。

私のモットーは市民の声を生かす。市民の市政をでございます。4年間、よろしくお願いを申し上げます。

早速、当選したら市民からの声を2つ頂いておりますので、御紹介をさせていただきます。

これ、男性の方でございますが、このようなメッセージを頂いております。19名の議員の皆様、御当選、おめでとうございます。自分のためではなく対馬市のために頑張ってください。古い議員さん、新人の若い議員さん、特に若い議員さんには、大変期待をしております。市民のために頑張ってくださいと。月給30万円以上の税金を無駄にしないようにということでございます。何かびくっとするようなメッセージでございます。

次に、これ、女性の方からでございますが、この選挙ポスターについての声を聞いております。選挙告示の選挙ポスターには規制がないのでしょうか。若いときの美男美女のポスターもあるように思いますと。私は、いつもポスターを見て議員さんを選んでいきますと。公平にお願いしますというお言葉も頂いております。

今月は、G7、首脳7か国会議がイギリスでございました。そして、このちょうど声明の中で、対話問題を明記しておられます。中国を非常に懸念をした声明でございます。

その中国は、今月もそうですけれども、5日前に、我が尖閣諸島を工船で、軍艦みたいな船ですが、この船で4隻入って、そして、この日本漁船を追いまくるわけでございます。何といいましょうか、わけの分からない国でございます。

このように、このだらだらしておりますと、なめられてしまいます。竹島みたいにとられることがないように、我が日本国政府には、武力によって、これを抑えるようお願いをしたいと思います。

そして、この五輪、パラリンピックでございますが、もう既に決定をしております。あと僅か

25日で開催をするわけでございます。

菅総理におかれましては、感染防止を最大にさせていただいて、そして大会を成功に導いていただいて、そして来る総選挙においては、絶対的な勝利をお願いをしたいと思います。

では、さきに通告しておりました2項目について、一般質問をさせていただきます。

まず、1項目でございますが、これは新型コロナ対策について、これは2点でございます。

まず第1点は、現在の取組状況と申しますのは、高齢者65歳以上の、今、接種の取組をしております。これがどのような取組をなされておるのかというのが一点でございます。

もう一点は、2点目でございますが、これからは64歳以下の方の接種が始まります。これにどのような計画を盛り込んでいくのかというのが1項目でございます。

2項目は、もう既に3回目になって、途中で時間切れでいつも終わってしまうわけでございますが、副市長の二人制について。

これは以前から、途中で切れたとお話ししましたが、そのときにも、今、選考しておるんだと。選んでおるんだということでございますが、いかがなつたのかなという、この2項目についてでございます。答弁よろしく願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 小宮議員の質問にお答えいたします。

まず、1点目のワクチン接種の現状の取組についてでございますけれども、本市におきましては、年齢の高い方から、順次ワクチン接種の予約に必要となります接種券をお送りし、段階的にワクチン接種を実施しております。

5月6日からの高齢者施設入所者への巡回接種を皮切りに、5月10日からの医療機関での個別接種、さらに5月30日からは集団接種を開始し、まずは希望する65歳以上の高齢者の方々の接種を7月末までに完了できるよう、取り組んでいるところでございます。

市独自の集計でございますけれども、6月27日現在、65歳以上の高齢者1万1,189人のうち、1回目の接種終了者7,203人で接種率64.4%、2回目の接種終了者1,672人で接種率14.9%となっております。

2点目の今後のワクチン接種計画についてでございますが、6月下旬から基礎疾患を有する方への優先接種受付を開始し、7月上旬から64歳以下の方へ接種券を年齢の高い方から順次発送する予定であります。

今後のワクチン供給スケジュールなど不透明な部分もあり、詳細な計画は、現在、策定中でございますが、希望する全市民への接種完了目標を11月末と設定し、取り組んでまいります。

詳細につきましては、決定次第、速やかに市民の皆様へお知らせいたします。

次に、2点目の副市長の2人体制についてでございますけれども、本年3月定例会におきまし

ても同様の質問がございましたが、本定例会まで上程に至っておりません。

適切な人材を御提案できるようになりましたら、改めてお願いすることといたします。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） やはり、この現状、65歳以上の取組については、完了を7月末には終わるという予定ということですね。分かりました。

それで、今の現状がどうなっているかということなんですけれども、言葉ではなかなか分かりづらうございますので、私なりに表を作成しましたので、市民の皆様にも、これを機会にどういう状態になっておるかということをお理解いただければ非常に助かります。

これが表です。

先ほど、市長のほうから6月27日までに、今、64.4%の高齢者の接種が、第1回目です。終わったということでございます。まず、ちょっと日にちは前後しますけれども、これ、6月の15日、タブレットを見ていただければと思うんですが、これは6月の15日を基準にしていますので、先ほど、市長のパーセントとはかなりの差があるかもしれませんが、基準はこれにしていますので、取りあえずこれで現状はどうなっておるかという説明を、まずさせていただければと思います。

まず6月15日現在で、この表の一番上です。85歳以上の方が2,421名、そして接種された方が1,283名、接種率が53%です。そして、80歳以上というのは、80歳以上から84歳までの間の方です。これが、対象人数が1,841人、接種者が914、49.6%です。そして、75歳から79歳までの方が、対象人数は1,717、接種者が663名、接種率が非常に低うございますけど、38.6%。そして、70歳以上の方が2,948名、接種者が595名、20.2%、65歳以上の方が2,723、接種が164で約6%ということですが、その下のほうに、これは議会が、当初始まったときに、市長のほうから御報告があった数字でございますが、6月20日付においては全体で5,930です。接種率が約53%です。

そして、この後、個別接種がございます。高齢者施設とか、これについては下のほう、下のほうから2番目の表でございますが、入居者数が694、接種者が484、69.7%で、そこに従事する従事者でございますが、500人で接種者が330人、接種率が66%。

それと、この下の表でございますが、現在、集団接種は1か所プラスされて、当初の計画では8でしたけれども、1か所プラスされて、今、9か所になっています。そのときの予約者の枠でございますが、5,732、それに対して、申込者が4,284、率にしますと75%でございます。

先ほど、市長のほうから、現在においては64.4%になっておるんだということですが、こ

れを完全に行うためには、市長の行政報告の中でもあったように、7月10日までに第1回目の方が終わってしまわなければ、国が目的とする、また市が目的とする7月までには全ての方の65歳以上の方のワクチン接種は完了しないわけです。

本日は28日ですから、あと10日前後で100%までいかなければ完了しないわけですが、その辺の計画を、まずどうなっておるのかということ、先にお尋ねをいたします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 小宮議員の質問の件につきましては、担当部長のほうからお答えさせていただきます。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 小宮議員の御質問にお答えいたします。

まず、本市におけるワクチン接種体制につきましては、巡回接種、個別接種、集団接種という3つの接種方法で実施をしております。

現在までのそれぞれの接種実績と今後の予約状況等を勘案いたしまして、7月末までの接種は巡回接種で640人、個別接種で4,500人、集団接種で4,200人、合計9,340人で、接種率83.5%と見込んでおります。

今回のワクチン接種は強制ではなく、自らの意思で希望する人が受けるものです。何をもちて接種完了とみなすのか、統一的な定義、基準は示されておられません。

本市では、高齢者人口に近い予約枠を設定いたしまして進めておりますが、高齢者接種の予約枠が埋まらなくなったときなどが、接種完了とみなすタイミング、また3月に、65歳以上の高齢者の皆様にワクチン接種についてのアンケートを実施し、75.7%の方から接種を希望するとの回答をいただいております、この数字を超えたときが接種完了の目安としてもよいのではないかと考えております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） 説明事項と実際する場合は、かなりの、また開きがあるかどうかと思うんですが、あと10日ぐらいしかないわけですから、実質的に対応できるとすれば、この個別接種、この11の医療機関があるわけですから、そちらのほうに時間を延ばしていただくとか、今の11の医療機関は、個別接種の機関は、時間が、もう3時から4時までとか、1時間区切りが非常に多いから、その辺を先生にもっと頑張ってもらって、1時間でも2時間でも延ばせば、1時間ごとに15人程度は対応できるわけですから、そういうふうなことを、まずお願いをしていただいて100%、最低でも80%クリアできるように努力をお願いをしたいと思います。

それと、先ほど数字を言っても、なかなか分かりづらいんですが、市民の方に、何かせつかく

ケーブルテレビもありますし、インターネットもありますので、分かりやすく知らせるということは、現状がどうなっているかということを知っていただければ、例えば、私は行こうとおっただけでも、もう今、ここまで進んでおるならば、早く行かねばいけないとか、そういう啓発的なこともできますんで、その市民に分かりやすいPRをできないかということで、私もちょっと、あっちこっちの自治体を調べてみたら、このような表紙のところがございました。

これは、対馬とほぼ一緒の人口の岐阜県飛騨市です。約、一緒ぐらいです。当然、山の中とか、そういうところが同じようなところなんですけど、この市は、このタブレットを見ていただければ分かると思うんですが、このような形で非常に分かりやすく、市民の方に示しておりますので、このような形でお年寄りでも分かるような表示の方法をやってみたらどうかと思うんですけども、その辺はどうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） ワクチンの接種状況についての分かりやすい発信ということでございます。

対馬市では、現在、ホームページ、ケーブルテレビ等で情報は発信しておりますけれども、今後も引き続き、市民の皆様に分かりやすい情報の提供に努めてまいりたいと考えます。

御紹介いただきました資料につきましては、今後の参考とさせていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） このような表が一番分かりやすいと思いますから検討していただいて、しっかりと検討していただきたいと思っております。

ただ、単なる検討はしないということですから、しっかり検討するという事は、可能性があらうかと思っておりますので、しっかり検討、よろしいですか。お願いしておきます。

それと、対馬は非常に行政区が181という大きい島なんですけど、このコロナワクチンについて、接種をしたいけれども、田舎に行くとお年寄りもたくさんおられます。非常に不便なところの方もおられるわけですが、地方自治体によっては、このバスとかタクシーを無料でというところもございまして。

これは、タブレットをお願いしたいと思っておりますが、これは長崎県の分なんですけれども、これは長崎県がつくった表です。そして、6月20日付のやつなんですけど、長崎県には、市が13市ございまして。そして、表を見ていただければと思うんですが、この一番進んでいるところは、大村市なんです。

ここが第一回目の接種率が70.1%です。非常に高いです。そして、対馬市が、この青で入れている分が対馬市なんですけど、先ほど市長の64.4%とずれがあるのは、これは仕方がない

んですが、6月22日の資料ですから、このように、かなり開きがあるわけです。

私も、どうしてこれだけの開きがあるのかと思っていまして、ちょっと調べてみました。すると、この大村市は巡回バスを出しています。そして、同じようにタクシー関係のやつも出ています。そうですね、資料からすると、タブレットの4、このように、非常にお年寄りが、そして一般の人が接種できるように、その市に集団接種ですけれども、タクシーもございますが、このような形でたくさんの方が接種できるようにという行政的な配慮もしてあるんです。

先ほど申しました飛騨市の資料にもございましたように、あの市は、私どもの対馬市と、ほぼ一緒ぐらいの人口割合です。その市は、もう既にこの4月の補正において、約600万円という補正をされて、既に施行されておられます。

何度も申しますけれども、対馬は非常に行政区の多いところですよ。そして、高齢化も高いです。そういう方たちが、全てとは言いませんけれども、ある一定の方が行っていただくためには、このようにバスとかタクシーを市のほうで手配ができるように、そうすることによって接種率も上がりますので、その辺の対応は十分できるんじゃないかと思うんですけれども、その辺はどうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 交通支援についての質問でございます。

接種を希望される方は、基本的には自ら接種会場、集団接種会場とかに赴いていただくことを原則としておりますけれども、公共交通機関もない、接種会場までの移動手段が困難な一部地域については、交通の支援を送迎バス等を運行する予定としております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） じゃあ、このような制度をつくってやってみようというお考えなんですね。検討じゃなくて、しっかりした検討なんでしょうね。

では、時期的なものもございますんで、予算的な面もございましょう。しかし予算については、地方自治法の第179条もございますんで、市長の判断でできる範囲は十分ありますんで、この制度が整い次第、179条で対応をお願いしたいと思います。市長のお考えを一つ。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） やはり、先ほど部長が説明いたしましたように、対馬市の場合、交通弱者、そしてまた要援護者をワクチン接種していただくためにも、この議員おっしゃられる交通機関への支援というのは、大変重要なことであろうというふうに、私たちも考えておりますので、このことについては、早速この6月の末から実施するように手配をしております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） 分かりました。

では、次のこの64歳以下の方です。今の体制としては、基礎疾患のある方を先にとということ、その後のものについては、今後計画を立てていきたいということですよね。ほかの地方公共団体は、もう既に早い段階でこの64歳以下の取組もしているところがたくさんございます。

先ほど申しました、この大村のやつなんですけれども、これについても、確かに全体的なワクチンの量関係の問題点もあろうかと思うんですが、この大村市の体制というのは、もう既に6月の21日から動き始めています。同じように、日本全国の公共団体も、かなりのところが動いています。

というのは、国の方針が6月の半ば過ぎぐらいから接種券を出すようにと、そして、ワクチンについては、64歳以下のワクチンについては、9月末までには必要な量を確保するという事なんです。

この大村の例ではございませんが、大村も、確かに問題点があろうかと思うんですが、ただ、その基本とするのはこのようになっております。接種開始時期については、ワクチンの提供量に応じて変更となる可能性もあるが、できるだけ早く皆さんに接種をして、市民の命を守っていききたいということです。

だから事務的な流れの中で、若干の逆戻りも発生するかもしれませんが、一日でも早く市民の方ができるようにしなければいけないと思うんですが、一日も早くワクチンの配付を見込んでの計画の作成を、再度お聞きしたいと思います。検討を。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 今後のワクチン接種計画でございますが、6月下旬から基礎疾患を有する方への優先接種の受付を開始しております。7月上旬から64歳以下の方へ、年齢の高い方から順次接種券を発送する予定としております。

ワクチンですけれども、国が9月まで、9月末までに全国民の確保予定としているワクチンは、ファイザー製とモデルナ製の2種類となります。ともに、2回接種が必要ですが、接種間隔、保管温度、移送方法などに違いがございます。

現在、対馬市で接種しているワクチンはファイザー製ですが、国の確保量等から推計いたしますと、モデルナ製ワクチンが供給されることも想定する必要があります。

現時点で8月以降、どちらのワクチンが供給されるかなどのスケジュールが示されておられません。このため、詳細な実施計画策定に苦慮している状況でございます。

しかしながら、希望する市民の皆様、迅速かつ適切にワクチン接種を進めていかなければなりません。ワクチン供給スケジュールに沿って、早急に詳細計画を策定し、速やかに市民の皆様

にお知らせをしていきたいと思っております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） そうですね。早くスケジュールを作成をしていただきたいと思います。

一番、長崎県で一番多いこの長崎市でも、もう既に今日から始まっております。そして、スケジュールもはっきりと何歳までは何日までというように設定しておりますので、その設定をすることによって受けられる方は、例えば45であれば、私はこのくらいの範囲にあるんだということも理解できますから、事前に市民の方に日にちを知っていただくためにも、全体的なスケジュールを早く作成をして、示していただきたいと思います。

先ほど、モデルナのワクチンの話をされましたけども、モデルナワクチンは、地方公共団体1,241の中には、基本的には配付をしないという国の方針ですから、それは職域関係の接種だけであって、数も、もう限度を超えていますんで、それはないと思いますんで、基本的にはファイザー社のワクチンで計画を立てて、早くスケジュールの発表をお願いしたいと思います。

それと、この64歳以下の方の接種が始まるとすれば、どこの公共団体も一緒なんですけど、一番事務的な処理がしやすいのは、インターネットを使うということなんです。結構、皆さん、自治体でもしてあります。長崎も結構してありますので、これは一番最初から取り組むべき課題だったと思います。

今回は64歳以下ということであれば、若い方が多うございますから、スマホを持ってある方とかです。特にSNSの公式アプリの中には、対馬市はLINEもございますので、このLINEを活用して、そして申込みをしていただくと。特に若い人たちは、電話ですというよりも、ほとんどの方がパチパチやっていますから、申込みもしやすいし、また受ける側の市も、事務的処理が非常に早いので、そちらのほうのLINEとか、その公式アプリを使って、今後計画があるのかないのか、それについて。部長、お願いいたします。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） インターネットを利用した、活用した予約ということでございます。

集団接種の予約に際しましては、電話がつながりにくい状況が続き、市民の皆様大変御迷惑、御心配をおかけいたしました。

これを少しでも改善できるように、現在、電話回線の増設及び対馬市LINE公式アカウントを活用した予約システムを導入するように進めております。

以上でございます。



○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） そんならあれですね、この公式アプリを活用した申込みの受付をやると、実行するという考えでよろしゅうございますね。何か発言があれば。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） LINEを使った予約については、集団接種の予約ということになります。個別接種はそれぞれの医療機関で受付をさせていただいておりますので、集団接種のみになります。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） そうですね。個別接種は各医院関係が、直接取れる量だけの分はありますから、それではなくて、集団接種についてはインターネット関係を使った申込みを行うということによろしいですね。それは早い時期に、早急、2週間ぐらいあれば構築できるでしょうから、2週間後ぐらいは実行できるようにお願いしておきます。

それと、この集団接種の話がありましたが、集団接種は65歳以上の高齢の方は別として、これからは若い人が入ってくるわけですね。コロナにかかるのは、若い人がかかるんです。お年寄りも山の中に住んでおられるわけですから、人とあんまり接しないんですが、特に若い人で仕事をされている方です。例えば旅館業とか飲食業とか、学校の先生も含め幼稚園・保育園、集団で生活される方で、64歳以下は各地方公共団体で順位は自由に決められるわけですから、できれば社会に一番深く関わる方というのは、向こうから来る方に接する方、先ほど申しました旅館業でありホテル業であり、建設業であるとか、せつかく集団接種するんですから、事前に、先に防げるような体制をするためには、社会で直に働いている方を優先的にすべきじゃないかと思っておりますが、その辺はどうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 議員、御指摘のとおり、医療・福祉・保育・交通など、社会生活を支えるのに不可欠な業種で勤務をされている方々、いわゆるエッセンシャルワーカーという方々ですけれども、これらの方々への優先接種は、感染拡大防止の観点から必要であると考えております。

7月に実施されます高齢者向け集団接種で、予約枠に到達しなかった会場におきまして、埋まらなかった予約枠を活用し、教員・保育士への優先接種を実施する予定としております。

今後、64歳以下の方の一般接種が本格化する8月以降の集団接種において、優先接種の対象業種を拡大し、実施してまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） ではあれですよね、このような職种的なものの対応も考えておると。そして、それについては、その8月以降の集団接種においてやりたいと。

現在からできるのは、申込みがあって、75%の申込みがあったその残りの部分、約千何ぼでしたか、千四、五百ですか、これについては、先ほど学校とかそういうことの関係の方の枠を、この中で取って、事前に職種接種を行うということによろしいんですね。

そうしなければ、なかなか食い止めることはできませんので、そして、あらかじめ収まった後に、ちょっと年を召された方のほうに回すというふうな形で取り組んでいただきたいと思います。

これから、その64歳以下になると、65歳以上は、約1万1,650人ですけども、これから64歳以下になると、約1万4,000人ぐらいおられるんですよね。かなりの量なんです。

現状の集団接種の会場と、11ある医療機関の対応なんですけど、これが特に、この11の医療機関の対応なんですけど、ホームページで見ればすぐ分かると思うんですけど、時間が、先ほど申しましたけれども、時間が非常に短いんです。これを見ますと、14時から16時までとか、その16時で切っているところが非常に多いんです。16時ということは、4時ですよ。まだ日は高いですし、5、6、7までしていただいたら、仕事の帰りに寄ったりできるんです。

そうすると、1時間で約15人ぐらいできると思います。2時間すると30人できるんです。これ平均して、いろいろなばらつきはありますけれども、そうすると、約1週間に約300人ぐらいできるんです。1時間、2時間延ばしてもらえれば。

そういうところを、この11の医療機関に、これは短期ですから、2か月かそこらじゃないですか。強く要望して、してもらうことはできませんか。

○議長（初村 久藏君） 健康づくり推進部長、松井恵夫君。

○健康づくり推進部長（松井 恵夫君） 医療機関への協力依頼ということでございます。

医療機関の皆様方には、通常診療時間内外において、個別接種、また土曜・日曜日に集団接種と御協力をいただいているところでございます。

引き続き、医療機関の皆様方と協議をし、調整をし、御協力をいただきながら、ワクチン供給量に応じた計画的な接種を進め、11月末までに希望する市民の皆様方に接種が完了することを目指して進めていきたいと思っております。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） 医療機関も含めて、医者というのは、市民の命を守るためにあるんです。先ほど申しましたように1時間、2時間延ばすだけで、300人、400の方が対応できるわけです。僅かな期間じゃないですか。そこを強く、その個別の医療機関に、強くですよ、優しくは駄目です。強くお願いしたいと思っております。

もう時間が、次は、この副市長の問題ですけれども、3回目になるわけですから、前回と同じように、まだ人材がおらんのだということですが、しかし市長もあれですよ。たしか1期通って、2期の始めですから、もう5年ぐらいになるわけですよ。5年間、そして中央に行ったり、あちこちに財政の人ともお話をされるわけでしょうけれども、5年間です。だらだら生きてきたわけじゃないでしょうから。5年間の間に、それらしき人物は見つからなかったんですか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） これまでの間、正直申しまして、1名ほど、ちょっとお願いをした方もございましたけども、その方との関係で、ちょっとそのままうまく、ちょっといけるようなことにならなかったと申しましょうか、うまく話ができなかったというようなことで、1名は断念したことがあることは事実でございます。

ただ、その後は、やはり2期目につきましては、俵、今の副市長ですけれども、1期目のときは桐谷副市長で、一生懸命2人で頑張って、何とか市民の幸せと活性化を目指して頑張ってまいりました。そのことにつきましては、どうか御理解をお願いしたいと思います。

○議長（初村 久藏君） 14番、小宮教義君。

○議員（14番 小宮 教義君） 見つけよったけども難しい話ですけども、市長の仕事というのは、日々の業務をこなすのも仕事でしょうけども、やはり市民に夢を与えなければいけないんです。副市長と、今、一生懸命頑張っておるということですけども、頑張るのは限度があるんです。市民に夢を与えるためには、新しい考え方を取り入れなければいけないんです。

そのためには、新しい人を、若い人を、一般公募でもいいじゃないですか。その人にこれからの対馬の夢をつくっていただいて、その人にこれから対馬を託してもいいじゃないですか。そうしなければ、予定どおりの時間だけが流れていきます。市民に夢を与えることはできない。一般公募で若い人を探してみましようや、どうですか。

もう、最後です。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 御提言はありがたく頂戴いたしますけれども、私は、公募ということは考えておりません。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） これで、小宮教義君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。再開は2時5分からといたします。

午後1時50分休憩